

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果(平成24年度)の概要

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ①グリーン・イノベーション分野(3/10)

	評価区分(*1)	総合評価 (IとIIの平均値にIIIを加味)	I 目標に向けた取組の進捗に関する評価	II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	III 現地調査時の指摘事項及び対応状況等(*2)	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
次世代エネルギー・モビリティ創造特区(豊田市)	正	B 4.4	B 4.0 進捗度 ・スマートハウスの導入数 100% ・次世代自動車の導入済台数 (PHV等) 46% 等	B 4.2 規制の特例等 ・HEMSを介したスマートフォンによる遠隔操作 等 財政支援等 ・次世代エネルギー・社会システム実証 等 地域独自の取組 ・豊田市エコファミリー支援補助金(住宅用太陽光発電システム設置費等) 等	+0.25	<p>・次世代エネルギー技術を核に、社会システム実証を含めた再生可能エネルギーとモビリティ事業の総合的な事業展開を図っている(※1)。 ・多様な取組(※2)がなされている。</p> <p>※1:(例)次世代エネルギー・社会システム実証において、実証住宅の分譲計画及び25年度末までに実証データ取得用住宅を300戸に拡大する計画に基づき、スマートハウスの導入拡大を図り、次世代自動車(車載蓄電池)からの逆潮流等、グリーンエネルギーの地産地消を図っている。</p> <p>※2:(例1)評価指標が多様:「再生可能エネルギーの地産地消率の向上」「モビリティの活用によるCO2の削減」「雇用の拡大」「地域経済の成長」「市民満足度の向上」 (例2)国及び地域独自の支援措置の活用: 国の制度:住宅用太陽光発電補助金、HEMS設備導入事業補助、クリーンエネルギー自動車等(充電設備)導入費補助等 豊田市の制度:エコファミリー支援補助金(太陽光発電、次世代自動車、家庭用燃料電池、充電器)、企業誘致支援事業(企業が工場や研究所などを建設する場合に奨励金を交付)等</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

*1)「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。 *2)「Ⅲについては、「地方公共団体による総合評価の状況」についても評価している。